

# 相模台小だより

1月号No.10

<http://www.matsudo.ed.jp/sagami-e/>



令和5年1月10日  
松戸市立相模台小学校  
校長 保坂 和志



## あけましておめでとございませす。

お正月三が日は、学校からも富士山がよく見えるくらい晴れ渡り、穏やかに令和5年が始まりました。本年もみなさまにとってよき年になりますよう祈念しております。

さて、昨年末は、ワールドカップで盛り上がりました。勝つのが難しいと思われていたドイツやスペインに逆転で勝利する粘り強さに多くの人が感動したと思います。前回のベルギー戦の逆転負けから学んだことや準備してきたことがあったからこそだと思います。残念ながら目標であったベスト8の壁は乗り越えられませんでした。この負けは次につながる大きな経験です。日本代表はこれからの4年間、それぞれが目標に向かって準備を重ねていくのではないかと思います。また、箱根駅伝は駒澤大学が三冠を達成しました。どこの大学や選手にも数々のドラマがあり、大きな経験となったことでしょう。

競技や年齢が変わっても、やはり変わらないものは、粘り強く地道な努力を重ねる姿勢の大切さであると考えます。

低学年のうちは、自分ができるようになるために一生懸命取り組む姿や習慣が大切です。高学年になるにつれ、自分の夢や目標に向かってどのような取組が必要なのか、自分を客観的に見つめ、試行錯誤しながら自分のできることを行う力をつけていくことが必要となってくるのです。スポーツだけに限らず、学力向上も同様です。一足飛びにできるようなことはありません。欲張ることなく、今できることをあきらめることなく行うことが次への備えとなるのです。

昨年度もお伝えしたように、この3学期は1年間のまとめを行い、次の学年に向かっての備えをする大切な時期となります。50日ちょっとのこの時期に目標を決めて取り組むことが次年度の大きなステップとなるのです。

この1年の初めに自分が必要だと思ったことを行うと決意をすることが大切です。一年の計は元旦にあります。・自分の考えを発表する・自主学習を忘れずに行う・忘れ物をしない・なわとびができるようになる・挨拶を自分から行う・話をしっかり聞くなど身近なものでいいのです。成果は、なかなかすぐに現れないことが多いのです。それでもあきらめずに行う力をつけるのが小学生の時期に必要なのです。誰かに手助けされてできたことは、なかなか身につかないものです。大人になるにつれ、自分でできるようにならなければならないのです。自分で解決する力をつけるのが今なのです。あきらめずに努力する大切さを学んでほしいと思います。

令和5年も職員一同、子ども達が力をつけるための応援をしていきます。

今年もよろしくお願いいいたします。

# 1月行事予定

○数字は実施校時

日	曜	校 内 行 事	日	曜	校 内 行 事
1	日	元日	14	土	
			15	日	
2	月	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px;">                     「ちばっ子 学びのデザインシート」とは 学習の基盤となる「問題発見・ 解決能力」を教科横断的な視点 で学力習得状況を調査測定する 試みです                 </div>	16	月	千教研 : 下校 本校会場校 学力テスト②③ 英語学力実態調査6年生①
3	火		17	火	席書会(体育館)①②:3年生 ③④:4年生 5年ちばっ子学びのデザインシート③④ 発育測定(1,2年)
4	水		18	水	児童集会 引継ぎ式 3年ちばっ子学びのデザインシート③④ ミニ避難訓練書初め校内展示(~1/24)
5	木		19	木	6年ちばっ子学びのデザインシート③④ 発育測定(3,4年)
6	金		20	金	発育測定(5,6年) 書き初め校内展示(~1/24)
7	土		21	土	
8	日		22	日	
9	月	成人の日	23	月	クラブ
10	火	短縮3時間日課 : 下校 3学期始業式 登校指導 - :	24	火	書き初め校内展示(最終日)
			25	水	読み聞かせ(低)
11	水	1~4年生5時間日課 : 下校 登校指導 : - : 給食開始 委員会活動	26	木	
			27	金	短縮5校時日課 下校 : お話クラブ 2年研究授業 松戸市小中学校造形展
12	木	登校指導 : - : お琴鑑賞教室4年生 松戸市書初代表練習~ : スクールカウンセラー来校	28	土	
			29	日	
			30	月	にじいろ活動
13	金	席書会(体育館) ①②:5年生 ③④:6年生 4年ちばっ子学びのデザインシート③④ 松戸市書初代表練習	31	火	授業参観 校時 : ~ : 偶数番号 校時 : ~ : 奇数番号 教育相談日

### 【2月の予定】

1日 5年情報モラル教育 3日 入学説明会 17日 6年生を送る会 22日 全校朝会  
24日 6年懇談会, 教育相談日 25日 川島教授講演会  
[読み聞かせ] 1日 中学年, なのはな 8日 高学年 15日 低学年  
[スクールカウンセラー来校日] 2/9 (木)

## 1月の生活目標

### 「寒さに負けず、外で元気に過ごそう」

年末の気象情報で「〇〇寒波」という言葉を何度も聞きました。この寒波は各地で大雪をもたらして、大きな影響を与えました。年末、千葉県では積雪がありませんでしたがとても冷たく乾いた風が吹きました。

「手足が冷える、ゾクゾクするような寒気」など冷え性にお困りの人も多いと思いますが、この冷え性に困っている子どもが増えていることはご存じでしょうか。

冷え性は睡眠、食事、運動という基本的な生活習慣が関係していると言われていいます。運動不足の状態では熱を出しにくい体になってしまいます。冷え性を予防には運動が一番です。晴れている日は休み時間に外で遊んだり、縄跳びをしたりするよう声をかけていき、寒さにも負けない体づくりをしたいと思えます。

また、今年はインフルエンザ流行が心配されています。十分な睡眠と食事をとり、手洗いとうがいをしっかり行って、健康に過ごすことができるよう、ご家庭での協力もお願いいたします。



### インフルエンザなど学級閉鎖をする場合は・・・

感染性の病気の流行期は学級閉鎖を行うことがあります。

ほとんどの場合、急に欠席者が増え、その日は早帰りにして、翌日から学級閉鎖を行います。その場合の流れは次のようになります。

<早帰りの時>

- ① 連絡メールで、早帰りまたは学級閉鎖実施の連絡を発信します。
- ② 給食後に下校させます。
- ③ 学校から手紙も配付します。(早帰りを数日続ける場合もあります)

<学級閉鎖の場合> 多くの場合、早帰り翌日から学級閉鎖になります。

- ④ 担任から閉鎖期間中に行う課題が出されます。体調不良の児童は、早く元気になることが課題です。
- ⑤ 各家庭から毎日 Forms で児童の健康状態を連絡していただきます。健康状態次第で学級閉鎖の解除の判断をいたします。連絡がないと解除の判断ができません。
- ⑥ 登校再開の際には、変更がない限り学校からの連絡はありません。再開日に元気に登校できるよう準備をお願いします。

<インフルエンザに罹患した場合>

- ⑦ 罹患した場合は、速やかに連絡ください。診断書の提出は不要です。
- ⑧ 発症してから5日間および解熱してから2日間は出席停止となります。

## お知らせ

### スクールガードの中山さん田中さん、ありがとうございました

〇国道6号線 BMWの歩道橋で交通安全指導をしていただいた中山さん、田中さんが2学期末でスクールガードを退任されることとなりました。3学期始業式で子ども達にお話をいただきました。中山さんは21年間、田中さんは10数年間、朝の登校指導をしてくださいました。本当に長い間ありがとうございました。心より御礼申し上げます。



### 学校評価アンケートについて

〇学校評価アンケートへのご意見ありがとうございました。よかったこと、課題となること、子ども達の家庭での様子など数多くのご意見が多く寄せられました。その中で改善していきたいことなど今後検討していきたいと思えます。アンケートの集計結果は今後お知らせいたします。

### 新校舎増築工事について

〇いよいよ次年度から新校舎の増築工事が施工されることとなります。くわしいことは後日松戸市教育委員会からの手紙でお知らせします。また、増築工事に伴い3月に遺跡等文化財の確認調査が行われます。ご承知ください。

### 「講師登録会」「スクール・サポート・スタッフ」について

〇教育委員会から学校で働く「講師」「スクール・サポート・スタッフ」の募集の依頼がありました。詳しくは、本校HPに貼ってありますのでご覧ください。

### クラス替えについて

〇令和二年度からコミュニケーション能力を高めるため、毎年、全学年学級編制を行うことに変更しています。

【メリット】

- 〇子ども同士の間わりが増え、コミュニケーション能力が鍛えられる。
- 〇多くの先生に出会う機会が増える。
- 〇多くの先生が関わることで、多面的に子どもたちの様子をとらえることができる。
- 〇新しい環境での活動の場が広がり化に伴い、学級・学校生活が活性化する。

【デメリット】

- 〇今まで作った人間関係を1年ごとに築き上げる。
- 〇環境の変化が不安になる

等

メリットデメリットに関しては、様々なご意見があると思えます。子どもたちは、多様な環境で学習・活動することで、自ら判断・思考しながら行動をすることがよりできるようになると考えています。

次年度の担任の配置につきましては、学校全体のバランスを考慮し、個々の教師の特性を十分に活かすことができるように努めてまいります。

今後とも、現在の学級での残りの期間が充実するように指導してまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。